

皆伐跡地調査報告書

平成 28 年 2 月

郡上市役所農林水産部林務課

<目 次>

1. 調査の目的
2. 調査の概要
3. 調査の結果
4. 調査結果まとめ

■ 特徴的な調査地の紹介

1. 調査の目的

郡上市内の皆伐跡地の植生回復状況を把握するため、調査を実施した。

2. 調査の概要

(1) 調査方法

調査は次の方法により実施した。

① 【選定】

昨年度までに更新未完了の箇所（9 箇所）及び更新完了であったものの、全体的に植生の回復が遅く、継続調査とした箇所（1 箇所）に加え、平成 26 年度の伐採地のうち、1ha 以上の皆伐地で、造林方法が天然更新の箇所（4 箇所）の計 14 箇所を選定し調査を行った。

② 【現場調査】

専門知識を有する郡上農林事務所林業普及指導員に同行願い指導のもと現場調査を実施した。

③ 【調査方法】

郡上市森林整備計画に基づき、伐採跡地を見渡し標準的な場所を選定し、2m×10m のプロットを作成、それを A～E の 5 区画（2m×2m）に区分し、それぞれプロット内に生えている木本類の樹種、本数、樹高を測定。伐採跡地の状況からその他の調査項目についても調査し、更新状況を判断した。



④ 【記録】

調査後は箇所ごとに更新調査記録を作成し、写真と共に整理した。

更新調査記録簿

(調査 No.)

基本情報

森林の所在		林小班	
伐採年度		伐採面積	
伐採樹種		更新方法	植栽 ・ 天然更新

現況

崩壊箇所	有 ・ 無
土砂流出危険性	有 ・ 無
植栽木生育	良好 ・ 普通 ・ 悪い ()
ササの侵入	有 (高・中・低) ・ 無
シダ類の侵入	有 (高・中・低) ・ 無
シカ被害	有 (高・中・低) ・ 無
主な競合植物 (樹高)	

更新調査

調査区	2m×10m (内に2m×2mを5プロット設定)		
更新樹種	50cm未満 樹種・樹高		計
	50cm以上 樹種・樹高		計

更新判定・特記事項

立木度	
更新判定	適 ・ 否 ()
特記事項	

調査

調査年月日	平成 年 月 日	調査者名	
-------	----------	------	--

(2) 調査期間

調査期間 平成 27 年 7 月～10 月の 4 ケ月間

調査人数 林務課職員 8 人 郡上農林事務所林業普及指導員 2 人
計 10 人

調査日	調査箇所	調査人数
7 月 8 日	八幡町初音字漆ヶ洞	4
7 月 8 日	大和町大間見字石原	4
8 月 31 日	大和町栗巢字金山	4
8 月 31 日	大和町落部字勝手洞	4
8 月 31 日	大和町落部字勝手洞	4
8 月 5 日	白鳥町為真字曾部知	4
7 月 29 日	白鳥町石徹白字上八平	4
8 月 5 日	白鳥町阿多岐字兎猪島	4
8 月 19 日	高鷺町鷺見字鷺ヶ嶽	4
8 月 19 日	高鷺町鷺見字笠屋作、字枇杷谷	4
8 月 24 日	明宝奥住字栃本	4
8 月 24 日	明宝寒水字深谷	4
9 月 8 日	明宝奥住字水沢上	4
10 月 14 日	和良町宮代字沢田平、字尾崎平	4

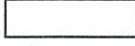
(3) 調査箇所

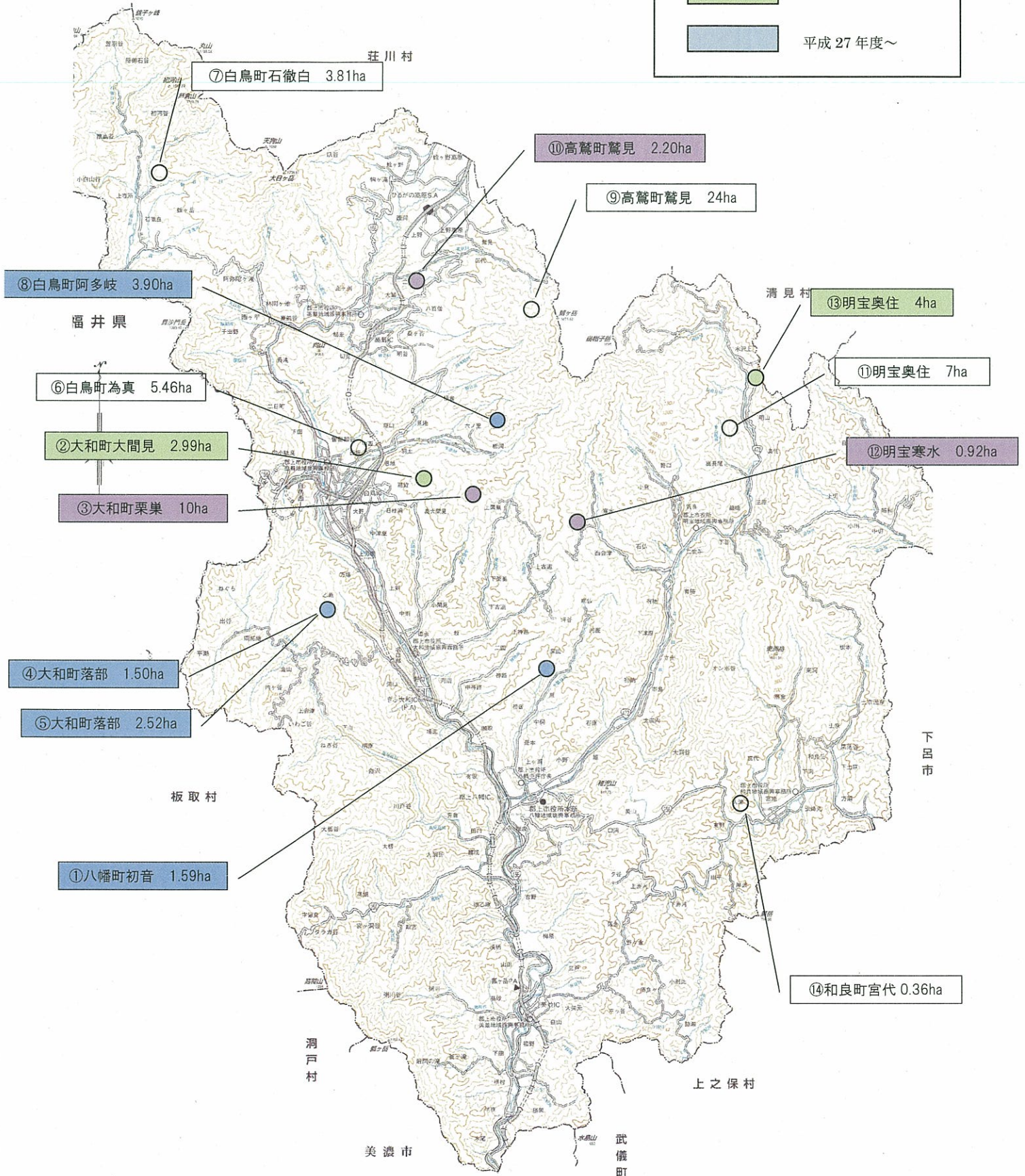
市内 6 地域、14 箇所において調査を実施した。

地域	番号	調査箇所	伐採 年度	伐採 面積 (ha)	伐採種 伐採率 (%)	伐採 樹種	伐採 齢
八幡	1	八幡町初音字漆ヶ洞	H26	1.59	皆伐 (100)	スギ	50～70
大和	2	大和町大間見字石原	H25	2.99	皆伐 (100)	スギ・ヒノキ 広	50～60
	3	大和町栗巣字金山	H24	10	皆伐 (100)	広 スギ	50・56
	4	大和町落部字勝手洞	H26	1.5	皆伐 (100)	広	50
	5	大和町落部字勝手洞	H26	2.52	皆伐 (100)	広	50
	6	白鳥町為真字曾部地	H24	5.46	皆伐 (100)	スギ・ヒノキ	70
白鳥	7	白鳥町石徹白字上八平	H23	3.81	皆伐 (100)	スギ 広 ヒノキ (一部)	50～90
	8	白鳥町阿多岐字兎猪島	H26	3.90	皆伐 (100)	広	55
高鷺	9	高鷺町鷺見字鷺ヶ嶽	H7	24	皆伐 (100)	スギ・ヒノキ	—
	10	高鷺町鷺見字笠屋作 字枇杷谷	H24	2.20	皆伐 (100)	スギ	60
明宝	11	明宝奥住字栃本	H22	7.00	皆伐 (100)	スギ・ヒノキ 広	55
	12	明宝寒水字深谷	H24	0.92	皆伐 (100)	スギ	53
	13	明宝奥住字水沢上	H25	4.00	皆伐 (100)	スギ・ヒノキ	45
和良	14	和良町宮代字沢田平 字尾崎平	H21	0.36	皆伐 (100)	スギ・ヒノキ	46・59・ 74

調査箇所位置図

皆伐跡地調査実施年度

	平成 24 年度～
	平成 25 年度～
	平成 26 年度～
	平成 27 年度～



3. 調査の結果

伐採跡地の現地調査の結果は、次のとおりである。

H27 皆伐跡地調査一覧

地域	皆伐調査対象森林			伐採届出内容			植栽木の生育状況	林況			更新の状況				施業の状況						更新判定								
	番号	森林の所在	伐採年度	伐採方法	面積(ha)	伐採樹種		伐採齢	更新方法	植栽確認	伐採状況	樹高	二次林の発生状況	周囲樹種	アベマキ	サナラ	クリ	更新樹種(高木)	樹高(cm)	ササ	シダ	シカ	保護樹等	伐倒木	林内環境	災害防止	その他	立木数	適正判定
八幡(1)	1	八幡町初音字添ヶ洞	H26、H27	皆伐100%	1.59	スギ(人)	50~70	天然更新	—	—	中	良好	380m	無	スギ、ヒノキ 広葉樹	アベマキ コナラ ウリカエデ アカマツ	サナラ カエデ類 アカマツ	クリ エゴノキ	5~212	無	無	無	無	無	無	無	無	1.5	否
	2	大和町大間見字石原	H25	皆伐100%	2.99	スギ、ヒノキ 広葉樹(人)	50~60	天然更新	済 (スギ、ヒノキ)	悪い	中	良好	700m	無	スギ、ヒノキ 広葉樹	アベマツ アカマツ タカノツメ	クリ コナラ	サナラ	5~34	無	有 (低)	有 (低)	有 (低)	無	無	無	0	否	
	3	大和町栗葉字金山	H24	皆伐100%	10	広葉樹 スギ(天)	50 56	天然更新	—	—	緩	良好	800m	無	広葉樹	コナラ ウリカエデ アカマツ	コナラ ソヨゴ	イヌシデ クリ	8~175	無	有 (低)	有 (低)	有 (低)	無	無	無	2	否	
白鳥(3)	4	大和町落部字勝手洞	H26	皆伐100%	1.50	広葉樹 (天)	50	天然更新	—	—	中	良好	670m	無	スギ、ヒノキ 広葉樹	アベマキ コナラ ウリカエデ アカマツ	コナラ エゴノキ	ウリカエデ イロハモミジ ウリカエデ	6~124	無	有 (低)	有 (低)	有 (低)	無	無	無	0.5	否	
	5	大和町落部字勝手洞	H26	皆伐100%	2.52	広葉樹 (天)	50	天然更新	—	—	緩	良好	660m	無	スギ、ヒノキ 広葉樹	コナラ ホオノキ エゴノキ	タカノツメ アカマツ ソヨゴ	ウリカエデ アカマツ ウリカエデ	3~79	無	有 (低)	有 (低)	有 (低)	無	無	無	0	否	
	6	白鳥町為真字管部知	H24	皆伐100%	5.46	針葉樹 スギ ヒノキ(人)	70	植栽	—	—	緩	良好	575m	無	アカマツ	アカマツ ヒノキ	クリ	ホオノキ	1~235	無	無	無	無	無	土砂 水	有	2	否	
高鷲町(2)	7	白鳥町石徹白字上八平	H23	皆伐100%	3.81	スギ 広葉樹 ヒノキ(一部 人)	50~90	植栽	済 (スギ)	普通	緩	普通	825m	無	スギ	スギ	ホオノキ	プロット内本 数25本 (2,500本/ha)	有 (低)	有 (中)	有 (中)	無	無	無	無	無	無	—	適
	8	白鳥町阿多岐字免猪島	H26	皆伐100%	3.90	広葉樹(天)	55	天然更新	—	—	中	良好	1220m	無	広葉樹	スギ ヤマモミジ タカノツメ	ホオノキ	3~38	有 (中)	有 (中)	有 (低)	有 (低)	無	無	無	無	0	否	
	9	高鷲町鷲見字鷲ヶ嶺	H7	皆伐100%	24	スギヒノキ(人)	—	天然更新	—	—	中	良好	1350m	無	スギ 広葉樹	コナラ ソヨゴ ミズナ	カハノキ類 ミズナ	5~247	有 (高)	無	無	無	無	無	無	無	1	否	
明宝(3)	10	高鷲町鷲見字笠屋作、字 根柵谷	H24	皆伐100%	2.20	スギ(人)	60	天然更新	—	—	中	普通	800m	無	スギ マツ	ウリカエデ アカマツ コナラ	ヤマザクラ アカマツ エゴノキ ミズナ	14~465	無	無	無	無	無	無	無	無	3	適	
	11	明宝町奥住字板本	H22	皆伐100%	7	スギ、ヒノキ 広葉樹(人)	55	天然更新	—	—	中	普通	850m	無	スギ 広葉樹	エゴノキ	無	55~225	無	無	無	無	無	無	無	無	3.5	適	
	12	明宝町寒水字深谷	H24	皆伐100%	0.92	スギ(人)	53	天然更新	—	—	緩	良好	900m	無	スギ 広葉樹	エゴノキ スギ	無	3~23	無	有 (低)	有 (低)	有 (低)	無	無	無	無	0	否	
和良(1)	13	明宝町奥住字水沢上	H25	皆伐100%	4	スギヒノキ(人)	45	植栽	済(カラ マツ)	良好	中	良好	850m	有	スギ、ヒノキ 広葉樹	アカマツ カラマツ	クリ	4~184	無	無	有 (低)	有 (低)	有 (低)	無	無	無	1.5	否	
	14	和良町富代字沢田平、字尾崎平	H21	皆伐100%	0.36	スギヒノキ(人)	46・59・74	天然更新	—	—	緩	普通	450m	無	スギ ヒノキ	スギ ヒノキ コナラ	カナクギノキ	15~270	有 (中)	有 (高)	有 (低)	有 (低)	有	無	無	無	3	適	

調査地の森林の種類別

種類	件数
人工林皆伐跡地	10
天然林皆伐跡地	4
計	14

届出時の更新の方法別

種類	件数
植栽	3
天然更新	11
不明	0
計	14

調査後の更新の方法別

種類	件数
全部植栽	3
一部植栽	0
未植栽	0
天然更新	11
計	14

4. 調査結果まとめ

市内 6 地域、14 箇所について、伐採跡地の現況を調査把握し、更新の適否を判定しました。

なお、調査箇所の造林方法は、3 箇所は植栽で 11 箇所は天然更新でした。その結果を下表にまとめました。

区分	個所数		更新完了		未更新		未更新の原因
6 年以上経過	2	植 0 天 2	1	植 0 天 1	1	植 0 天 1	・ 笹の繁茂により、更新が遅れている。
2～5 年経過	8	植 3 天 5	3	植 1 天 2	5	植 2 天 3	・ 植栽木の枯損が多い。 ・ 母樹がない。 ・ 枝条類の広範囲に渡る積み上げ集積により、植物の生育が阻害されている。 ・ 低木、中木性稚樹の存在。
0～1 年経過	4	植 0 天 4	0	植 0 天 0	4	植 0 天 4	・ 低木、中木性稚樹の存在。 ・ 伐採後間もないので、50cm 以上の高木性の稚樹が少ない。
計	14	植 3 天 11	4	植 1 天 3	10	植 2 天 8	

※県の天然更新完了基準書に基づいて判定しています。

県の天然更新完了基準書に基づいて判定した結果、更新完了は 4 箇所、未更新は 10 箇所となりましたが、未更新箇所全てにおいて高木性の稚樹が確認でき、今後更新が見込めそうでした。しかしながら、全 14 箇所のうち、更新完了の 2 箇所を含む 8 箇所については、1. シカの食害 2. 枝条類の広範囲に渡る積み上げ集積 などの要因によって、稚樹の成長に影響を及ぼし、森林の再生に時間を要すると思われます。

1. シカの食害については、市全体において、大変深刻な問題となっています。本年度調査した多くの箇所でも、昨年自生していた稚樹がなくなっ

たり、先端が食害されたりなど、被害を受けた箇所が多く確認されました。

2. 萌芽更新や下種更新の妨げとならないよう、枝条類は林外へ搬出する、または小規模ずつ分散集積することが必要ですが、N0. 13 明宝奥住字水沢上では、広範囲に渡って積み上げ集積されており、その箇所については植物の生育が阻害されていました。

なお、伐採跡地には、多数の高木性の稚樹が確認できましたが、樹高が50cmに満たなかったり、50cm以上あっても、生育の良い中木性の稚樹が隣接する高木性の稚樹よりも樹高が高くなっている事例が多くありました。特に中木性のシロモジは、多くの伐採跡地で自生しており、樹高が高いものが多い状況でした。

また、植栽木の枯損については、今年の春に植栽したものの、雨があまり降らなかったため、水分不足で枯れてしまったことが要因でした。

■ 特徴的な調査地の紹介

【シカの食害】

N0. 14 和良町宮代字沢田平、字尾崎平は、シダ植物や笹の侵入はあるものの、樹高50cm以上の高木性の稚樹を多く確認でき、更新完了となりました。しかしながら、周辺にはシカの食害が多くみられ、笹にも食害が確認されたこと、また、チャや竹が多く自生している状態であることから、森林への再生が可能かどうか、今後も注意が必要かと思われます。



シカによる食害

【枝条類の山積み集積】

N0. 13 明宝奥住字水沢上では、枝条類を広範囲に渡って積み上げており、その箇所については、植物の生育が阻害されていました。



広範囲に渡って積み上げられた枝条類

【低木、中木性稚樹の存在】

N0. 1 八幡町初音字漆ヶ洞は、伐採して1年経過していませんが、多数の広葉樹の稚樹が確認できました。しかし、広葉樹の中でも特に中木性のシロモジが多く、コナラやカエデ類などの高木性の稚樹よりも樹高が高くなっているものが多くあり、更新完了とはなりませんでした。

